

令和3年度

木更津工業高等専門学校

自己点検・評価書

点検・評価委員会

目 次

1. 自己点検・評価（基準 8）

(1) 基準 8-1	2
(2) 基準 8-2	5
(3) 基準 8-3	7

学校教育法第 109 条第 1 項に定める、大学は、その教育研究水準の向上に資するため、文部科学大臣の定めるところにより、当該大学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果を公表するものとする。

※高専も大学に準ずる。(同 123 条)

に伴い、本校で定めた自己点検・評価に関する基本方針並びに実施基準（令和 2 年 2 月 19 日）に従い、高等専門学校機関別認証評価の「自己評価書」で定められている全項目評価について、5 年間 1 サイクルとする全項目評価の実施計画を作成し、令和 3 年度については、JABEE 審査の受審も考慮し、基準 8 についての自己点検・評価を行った。

1. 自己点検・評価

基準 8 専攻科課程の教育活動の状況

8-1 専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。また、専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。

観点No.	8-1-①
点検項目	教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。
自己点検・評価内容	カリキュラム・ポリシーに基づき、JABEE 認定プログラムを踏まえて、授業科目を配置・編成している。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-1-①-1, 8-1-①-2

※自己評価 S=優れている A=良好である B=概ね良好である C=不十分である

観点No.	8-1-②
点検項目	準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。
自己点検・評価内容	本科 4～5 年、専攻科による単一の技術者教育プログラムとして、「生産システム工学」を構成している。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-1-①-2（再掲）

観点No.	8-1-③
点検項目	教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。
自己点検・評価内容	FD推進委員会のFD活動として、授業公開特別期間を設けて、授業技術研鑽を推進している。さらに、授業参観後に授業技術研鑽記録表を提出し、教員相互による工夫を共有している。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-1-③-1（非公表）

観点No.	8-1-④
点検項目	教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。
自己点検・評価内容	カリキュラム・ポリシーに基づく「生産システム工学」教育プログラム履修の手引により適切に行っている。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-1-④-1

観点No.	8-1-⑤
点検項目	成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。
自己点検・評価内容	専攻科のカリキュラム・ポリシーに基づく成績評価・単位認定基準を定めている。学生への周知方法として、学生便覧へ掲載するとともに、「生産システム工学」教育プログラム履修の手引の説明として本科第3学年に行っている。成績評価は専攻科成績審査会議によって単位認定を行っている。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-1-⑤-1, 8-1-⑤-2, 8-1-⑤-3 (非公表)

観点No.	8-1-⑥
点検項目	修了認定基準が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。
自己点検・評価内容	専攻科委員会において基準を策定している。また、学生便覧および「生産システム工学」教育プログラム履修の手引によって、学生への周知を行っている。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-1-⑥-1

8-1 特記事項	特になし
----------	------

8-2 専攻科課程としての入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切に運用されており、適正な数の入学状況であること。

観点No.	8-2-①
点検項目	入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。
自己点検・評価内容	入学者選抜では、推薦・学力選抜共に面接を行っている。「専攻科入学者選抜実施要項」で面接の評価方法を定めており、その中にアドミッション・ポリシーに係る質問事項および評価事項を定めている。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-2-①-1, 8-2-①-2（非公表）

観点No.	8-2-②
点検項目	入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。
自己点検・評価内容	入試委員会において、アドミッション・ポリシーに沿った学生を受け入れているかどうかを検証するとともにその結果を改善等に役立てている。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-2-②-1（非公表）

観点No.	8-2-③
点検項目	実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。
自己点検・評価内容	専攻科入学者選抜として、推薦選抜専攻会議および学力選抜専攻会議において、選抜を行っている。近年、同様な人数が入学しており、大幅な超過とは言えない。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-2-③-1, 8-2-③-2 (非公表)

8-2 特記事項	特になし
----------	------

8-3 修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育・研究の成果が認められること。

観点No.	8-3-①
点検項目	成績評価・修了認定の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。
自己点検・評価内容	学生が作成する自己点検表を指導教員が確認し、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育・研究の成果が得られるよう助言を行っている。 研究業績・受賞業績一覧で確認できる。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-3-①-1, 8-3-①-2（非公表）, 8-3-①-3（非公表）

観点No.	8-3-②
点検項目	達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。
自己点検・評価内容	学生・修了生・進路先関係者へのアンケートを実施し、成果を確認している。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-3-②-1（非公表）, 8-3-②-2（非公表）, 8-3-②-3（非公表）

観点No.	8-3-③
点検項目	就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。
自己点検・評価内容	就職及び大学院進学状況から、成果が認められる。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-3-③-1

観点No.	8-3-④
点検項目	修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。
自己点検・評価内容	過去5年間において、すべての修了生が学位を取得していることから、学習・教育・研究の成果が認められる。
改善した内容	
自己評価	A
今後の改善点	特になし。
根拠資料	8-3-④-1 (非公表)

8-3 特記事項	特になし
----------	------